

# ネットが結ぶ食育 〜こころの交流を実現!〜



小田 清隆  
愛媛大学農学部  
附属農業高等学校教諭

「愛媛へ行きたい!」

子どもたちの大きな声に、私の声はかき消されました。先月、私は愛媛から800キロメートルも離れた鎌倉の子どもたちのもとへ行きました。子どもたちは初対面の私を大歓声で迎え入れ、歓迎してくれました。今年の夏には、そのほとんどの子どもたちが、愛媛に来る予定です。

## ネットで可能になった食育交流

きっかけは、食育に熱心な小学校の先生と出会ったことから始まりました。私の勤務する学校は農業高校、日々動植物と接し、いのちを育みこころ豊かな生徒

たちがいる。何かできるのでは?と直感し、交流しようということになったわけです。

さて、やることは言ったもののどうするか!ととりあえず、メールで、小学生に農業への疑問・質問を聞いてみました。高校生の彼らで解決できるものもありましたが、ちょうど農家の人と話す機会があり、取材をしました。その取材記をまとめ、ネットで流したところ、これが小学生にうけたんです。自分たちの出した疑問・質問に対して、高校生のお兄さんお姉さんが汗を流して取材してくれた。そのリポートが子どもたちのこころを熱くしたんです。

2ヶ月後、次は、ハウスの中からの実況中継。携帯電話のテレビ電話機能を使い、農業高校のハウスと小学校の教室が結ばれる。生中継の興奮が伝わる。高校生は、ほとんどアドリブ。キュウリの花を見つけて、「これは何?」と。雄花と雌花の違い



ハウスの中から実況中継

いをうまく説明。小学生からの質問にもしっかりと答える高校生。さすが、お兄さんお姉さんと小学生からは羨望のまなざし。ハウスで実習を共にしていた仲間たちとともに、進行していた高校生はキュウリを丸かじり。いのちをいただく姿、新鮮さ、おいしさが「カリッ」という音とともに小学校の教室に響く。その教室には、高校生が作ったキュウリが送られていました。その後、そのキュウリがどうなったかは知りません…。

またまた2ヶ月後、高校生主催の料理教室を開こうということになりました。



鎌倉の小学校の教室を結ぶ



親子参加の交流・料理教室

800キロメートルの距離を超えてどうやればできるか? 簡単なインターネットテレビ会議システムを応用しようということになりましたが、こちらの暮らしを知ってもらうには、郷土料理を紹介するのが一番と「おもふりごはん」をメニューにしました。さて、鎌倉小学校側、食に関することは子どもたちだけの問題ではありません。お父さんお母さんたちの問題でもあると考え、親子で参加をしてもらいました。高校生の進行・指導のもと、交流・料理が始まりました。最初こそ、緊張であたふた・どぎまぎしたが、いくつ

の質問のやりとりがあり、次第に和み、一体感が生まれ、相手を映し出しているスクリーンには、お互いの笑顔がありました。料理が出来上がり、小学生的の代表による「いただきます」の号令。離れていても、時間を共有している、お互いを思いやる温かい気持ちが伝わります。食材は全て「愛媛産」。食材についての質問もありました。ふだん触れることのできない本物の食材に食はすすみ、ふだん食べられないものまで食べられたとの声。

### 笑顔と笑顔が繋がった

否応なしに、子どもたちの「愛媛へ行きたい」というニーズは高まります。ネットに繋いだ食と農、愛媛と鎌倉、高校生と小学生。次はバーチャルからリアルへ。段階を経て、高校生も小学生もこころの交流があり、農から食へといのちを繋ぐことができました。それを実体験に結びつけていく。今年の夏は、愛媛でのリアルな交流が待っています。子どもたちは初対面であっても、すでにネットで繋がっています。こころが繋がっており、楽しい交流が期待できます。



高校生主催の料理教室を開く

結果から見るとすごい取り組みをしたように見えますが、一つのヒューマンネットワークから、だんだんと広がっていったものです。食育というのと大げさで、単に、子どもたちの笑顔を繋いでいただけです。その延長上で、愛媛のファンを増やすことができました。鎌倉の子どもたちのこころには、一生「愛媛」の2文字が刻まれていくことと思います。そして本校の高校生にも「鎌倉」は、しっかりと刻まれています。

ネットがなければ、繋がらなかった「こころ」と「こころ」。これをもっともっと広げていきたいと思っています。ネットは異世代、異地域を結ぶことができます。もちろん、同地域でも。学校の垣根を取り払った取り組みができればと考えています……。

「食育」と大上段に構えて、一步を踏み出せず思い悩むより、まず行動。子どもたちはこころへの刺激を待っています。遠くても近くても距離は関係ありません。ネットがお互いを繋いでくれます。一緒にやりましょう。高校生とともにご連絡をお待ちしています。